

第6回木曾川水系流域委員会 議事要旨(案)

日 時：平成19年9月10日(月)13:30~16:30
場 所：名古屋銀行協会銀行倶楽部 5F大ホール

1. 開会

2. 挨拶(中部地方整備局河川部長)

3. 委員長挨拶

4. 議事

(1)第5回木曾川水系流域委員会議事要旨の確認

「第5回木曾川水系流域委員会の議事要旨(案)」については、内容の確認のうえ了承されました。

(2)今後の進め方(案)の確認

「今後の進め方(案)」については、内容の確認のうえ了承されました。
また、次のような意見をいただきました。

- ・ 過去の議論がわかるような進め方で行ってほしい。
- ・ 基本方針についてわかりやすくまとめること。

(3)木曾川水系の現状と課題(治水、流水管理・水利用、環境、維持管理)

主に次のような意見をいただきました。

- ・ 現状と課題をまとめた資料について、索引を付けること。

(4)木曾川水系河川整備計画(たたき台(骨子))

主に次のような意見をいただきました。

- ・ 環境メニューの水質改善に伊勢湾の再生とあるが、支川の浄化や干潟再生を通じて伊勢湾再生に貢献できるものであり、表現が大上段過ぎるかと思う。
- ・ 危機管理対策はソフトとハードが一体となって考えるべきだから、それらを支える前提条件の整合性について、知識を共有することが必要。
- ・ 基本方針では、基準点の計画高水位を記載しているが、整備計画では縦断形状について、合理的なものなのかをできる限りチェックすることが必要。
- ・ 温暖化などの現象を考えると、規定の計画高水位だけを前提で考えるべきではない。
- ・ 事業費配分は、プライオリティーをどのように位置付けるべきかの議論が必要。

- ・ 木曽川・長良川・揖斐川の予算配分のポイントについて示すこと。
- ・ 治水・利水・環境を個別で議論するのではなく、お互いトレードオフ関係の問題点を整理してから議論することが必要。
- ・ 降水量におけるトレンド対応と異常対応、トレンドの変化量の増大によるハード（施設）対応力の限界とソフト対応の連携を考えることが必要。
- ・ 環境と治水の全体バランスの考え方について議論することが必要。
- ・ 様々な問題に対し効果的なコストパフォーマンスを導く対応が必要。
- ・ 利水における計画論(1/10 濁水等)と異常濁水を区別するような整理が必要。
- ・ 三川ごとに決める計画規模で、戦後最大洪水で決めているが、その規模に差が含まれている可能性があるため、説明ができるように整理すること。
- ・ 揖斐川のように本川型・根尾川型というような整理を、木曽川でも整理して、説明すること。
- ・ 濃尾平野の治水は大きな課題だから、ソフト対策としての整備メニューをしっかりと記載する必要がある。例えば、河川管理者が主導的に市町村へ働きかけてハザードマップを作成するようなことを盛り込むこと。
- ・ 若干低目のハードルしかやれないところについて、若干踏み出した形でソフトを行うというスタンスで書き込んで欲しい。
- ・ 環境メニューは、木曽三川の独自性がイメージできるようにメニューを考えること。
- ・ 土砂対策の問題は治水、利水、環境に係わる大きな問題である。ダム堆砂と生物環境の視点から治水対策は、洪水調節容量と計画高水流量のどちらが有利なのかを整理すること。
- ・ 計画を超えた降雨や流量が流入したダムの管理・対策についても書く必要がある。
- ・ 砂防工事等の周辺事項は、流域全体への配慮事項として記述することが必要。
- ・ プライオリティーが議論できるように、工夫していただきたい。
- ・ 整備計画の対象区間に一部指定区間まで含めた整備計画もあり得ることを認識して議論を進める。
- ・ 流砂の管理と物質管理という視点の提案について検討すること。
- ・ リスク対策と危機管理対策を定義を明確にすること。
- ・ 整備目標とメニューについては、次回も議論する。
- ・ 正常流量と制限流量については、総合かつ長期的視点に立った議論が必要。
- ・ 木曽川水系導水路について、水資源の有効利用策としては適切だが、水質や減水区間の影響について検討する必要がある。
- ・ ダムの総合運用に向けて、既存の水利権、管理運用、費用負担等の利水者間の合意について検討が必要。

(5)意見聴取の取り組みについて

主に次のような意見をいただきました。

- ・ アンケートなどの意見を整備計画のどこに反映させたかわかるようにプロセスを示すことが必要。
- ・ ふれあい懇談会で得た意見をわかりやすく返すことが必要。

(6)その他

- ・河川整備基本方針検討小委員会の報告
- ・木曽川水系連絡導水路の記者発表について
- ・今後の予定

5 . 閉会